

## 胃がんにおける HER2 過剰発現の新規検出法開発

胃がん患者さんの約 20%に HER2 という物質を過剰に発現するがん細胞が見られ、このような患者さんに HER2 を標的とする抗がん剤治療は劇的な効果を示します。しかし、現在行われている HER2 過剰発現の検査法は、時間がかかり治療開始が遅くなる可能性や、結果の正確性などいくつかの問題が指摘されています。迅速でより正確な新しい HER2 検出法を開発することを目的とし、消化管外科とがん薬物治療科とで共同研究を行っております。具体的には、2001 年 1 月から 2015 年 12 月の間に京都大学医学部附属病院で手術を受けた胃がん患者さんの胃切除標本を用いて、従来の検査法と新しい検査法とで比較検討を行います。研究期間は 2015 年 1 月 8 日から 2021 年 3 月 31 日を予定しています。詳細はこちらをご覧ください... (リンクを貼っていただく予定です)

# 疫学研究のお知らせ

京都大学医学部附属病院消化管外科・がん薬物治療科で共同研究を行っております

研究課題名: 胃がんにおける HER2 タンパク発現の新規検出法開発

研究の目的: 胃がん患者さんの約 2 割に、HER2 という物質を過剰に発現するがん細胞が見られます。このような患者さんに HER2 を標的とする抗がん剤を投与すると劇的な治療効果を示すことがわかっていますので、胃がん患者さんの HER2 発現を正しく診断することは、治療に用いる抗がん剤の選択にとっても重要です。しかし、現在行われている検査法では、正確に HER2 の発現を検出できていない可能性が指摘されています。当研究では、より正確な新しい HER2 検出法を開発することを目的としています。

研究の方法: 2001 年 1 月から 2015 年 12 月の間に京都大学医学部附属病院で胃がんに対して手術を受けた患者さんの胃切除標本を用いて、HER2 検出に関して従来の検査法と新しい検出法とで比較検討を行います。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認を得て実施されています。研究期間は 2015 年 1 月 8 日から 2021 年 3 月 31 日です。

研究成果発表: 学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

個人情報保護: 個人情報を含むデータは症例登録番号により匿名化し、外部からのアクセスが制限されアンチウイルス機能を備えたパーソナルコンピューター上で管理し、施錠可能な場所・部屋でのみ取り扱います。研究終了後、論文化から 10 年以上は個人情報を含むデータを保管しますが、その後は復元不可能な方法でデータを削除いたします。

問い合わせ先 1: 研究事務局

京都大学医学部附属病院がん薬物治療科 武藤学

電話番号: 075-751-4592

E-mail : kuhp.cancer.therapy@gmail.com

問い合わせ先 2: 京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話番号: 075-751-4748

E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、上記問い合わせ先 1、2 のいずれかまでご連絡ください